

# 2023 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：2023 年 4 月 28 日(金) 17:30～19:15

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）  
Zoom によるオンライン

出席者：三輪（会長）、永田（東京支部）、森田（次期関東支部）、仙田（関西支部）、椿（しゃち）、趙（留学生）、張（女子の会）、杉野（1 期）、高瀬（2 期）、青木（3 期）、大澤（4 期）、遠山（5 期）、渡辺（6 期）、加藤（7 期）、寺島（8 期）、河邑（9 期）、石川（10 期）、辻本（11 期：伊藤代理）、水野（12 期）、田中（13 期）、磯部（14 期）、向井（15 期・会計監事）、大東（16 期）、岩田（18 期）、水谷（19 期）、片山（20 期）、後藤（21 期）、加藤（22 期）、中村（23 期）、中野（24 期）、野田（25 期）、鈴木（26 期）、石川（27 期）、川崎（29 期）、荻野（30 期）、石川（31 期）、水野（32 期）、伊藤（33 期：香川代理）、三輪（34 期）、田代（35 期・後援基金）、中井（36 期・幹事長）、判治（37 期・副幹事長・名簿）、中村（38 期）、中村（39 期・会計）、二井内（41 期）、宇佐美（42 期）、酒井（44 期・名簿・広報）、吉川（46 期・会計）、豊田（50 期・名簿）、勝田（52 期）、森田（56 期）、佐藤（58 期・学生会会長）、花田（59 期）

敬称略

出席者数 53 名

## 1. 報 告

### 1. 2022 年度会計報告 (中村(友)) p.007

- ・ ここ数年、コロナ禍で行事が実施されなかったため収支が改善していたが、今後は行事の再開に伴って支出が増えるため、注意が必要とのこと。特に納入率の高い期が順次プレミアム会員に移行することによる会費収入の減少が危惧されるため、若い期の納入率上昇が重要となる。

### 2. 後援基金報告 (田代) p.010

- ・ 援基金使用ルールの確認の後、会計報告がなされた。
- ・ 支出に記載の終身会員資格 7 名分 105,000 円は、終身会員資格 6 名分の 90,000 円の誤りであり、訂正された。

### 3. 支部活動報告

#### 1) 東京支部 (永田) p.012

- ・ コロナ禍のため支部会員を対象とした活動はできなかったが、各期幹事の連絡先の確認・更新、全学同窓会関東支部事務局長・監査の方々とのメールによる連絡・相談を行った。
- ・ 令和 5 年度の幹事団体は榊大林組に交代し、支部長は森田氏(28 期)、副支部長は山本氏(25 期)、事務局(代表)は中村氏(38 期)に担当いただくことが報告された。2023 年度は新型コロナウイルスの感染状況を見ながら活動を再開させていく。

- 2) 関西支部 (仙田) p.013
- ・ 令和5年度は4月に幹事会を開催し、9月の支部大会、11月のシルバー大会を対面で開催することを確認した。今後は、新しく関西に来た人を把握し、支部活動への参加を呼び掛けたいとのこと。
4. 教室近況報告 (舘石 代理：中井) p.014
- ・ 西口浩司先生の昇任、白木裕斗先生の着任、片山新太先生の定年退職、笠井拓哉先生の異動の報告がなされた。
  - ・ 中村光先生が工学研究科副研究課長に就任されたことが報告された。
5. 女子の会活動報告 (張) p.015
- ・ 懇親会を行う予定だったが学生との予定が合わず断念した。今年は早めに声をかけて6月あたりに開催したいとのこと。コロナが5類になることを受けて、今後は年に2回程度のイベントを開催していきたい。
6. 留学生関連活動報告 (趙) p.016
- ・ しゃち No.62 から記事を抜粋・英訳した Alumni Newsletter No. 10 をメールにて卒業生・在學生（留学生のみ）に発信したことが報告された。
  - ・ コロナが5類になることを受けて、今年度は対面での留学生のパーティー開催を検討しているとのこと。
7. 学生会活動報告 (佐藤) p.027
- ・ 3月には4年ぶりに卒業パーティーを開催することができ、卒業生・修了生代表からのスピーチ、研究室ごとのビデオレターの上映など、名古屋大学を卒業される方々にとって記憶に残るものとなったこと、前年度に引き続き土木系の卒業アルバムの制作を行って卒業生には大好評であったことが報告された。
  - ・ 卒業記念パーティー開催補助として、39,300円の会場費補助を頂いたことに対するお礼があった。ただし、この補助はコロナ禍での特別対応であり、基本的には年間活動費10万円の中で各種行事の運営をやり繰りする必要があることが指摘された。追加の支援が必要な際は、役員会での承認を得る必要がある。
8. 土木系教室関係の行事实施報告 (中井) p.030
- 1) 土木事業の談話会
- ・ オンライン形式で11月19日(土)に開催し、B2～M2まで計54名の参加があったことが報告された。
  - ・ コロナ収束に伴い、談話会をどのように実施していくのか（開催形式や懇親会の実施）については今後の検討課題とのこと。
- 2) 就職マナー講習会

- ・ オンライン形式で11月19日(木)に開催し、20名の参加があったことが報告された。
- ・ 近年、参加者が減少している。学生のニーズや要望を確認しつつ、継続するかどうかを検討していくとのこと。

### 3) 土木系教室卒業・修了記念パーティー

- ・ メルパーク名古屋で3月27日(月)に開催されたことが報告された。教員28名、修了生28名、卒業生29名の計85名の参加であった。
- ・ 4年ぶりに対面での開催となり、非常に盛況かつ思い出となる会となったことが報告された。

## 9. その他

- ・ 同窓会サミットが7/1(土)、ホームカミングデイが10/21(土)に開催予定であることが報告された。
- ・ 4期(55年会)、9期(50年会)、14期(45年会)、16期(40年会)、19期(40年会)が同期会を開催予定であることが報告された。当該期におかれては、同期会開催後に、しゃちへの開催報告を作成することが依頼された。

## 2. 議 事

1. 役員・幹事の変更 (中井) p.001
  - ・ 教員幹事が野田先生から館石先生、学生会会長が広瀬君から佐藤君に交代すること、4年生幹事として山田君と坂上さんが追加されることが提案され、承認された。
2. 2022年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録の確認 (中井) p.002
  - ・ 2022年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。
3. 名簿 No.58 編集作業の総括と No.59 の編集方針 (判治) p.036
  - ・ 名簿 No.59 については、例年通りの編集方針・スケジュールで進めること、紙媒体での製作数は No.58 と同様に 30 部を検討していることが説明され、承認された。
  - ・ CD を読み込めない PC が増えている状況や、Adobe Acrobat Reader でないと読み込めない (Adobe Acrobat Pro では×) 仕様について、現状の CD による名簿配布の是非について意見があった。閲覧に手間がかかる点は担当者も理解しているが、担当者の負担増だけでなく、セキュリティやコストの面からも現状の方法が限界であることが説明された。名簿の閲覧方法については別添えの説明資料を一緒に送っているが、Adobe Acrobat Reader でないと読み込めない点を強調するなど、配布資料を再確認し、必要に応じて修正することとした。
  - ・ 名簿閲覧に関する課題については、現在進めている会員情報システムの導入検討を進めることで解消していくこととするが、今年度は従来通りの方法で名簿を作成・配布することが承認された。
4. しゃち No.64 編集方針 (椿) p.038

- ・ 特集は「片山先生退職記念」として、土木系教員や卒業生からの寄稿を募集することが提案され、承認された。印刷部数は例年通り、3000部を予定しているとのこと。

5. サーバの管理について (酒井) p.040

- ・ サーバーレンタル料 17,160 円/年、迷惑メールフィルター1,296 円/年、ドメイン管理費 13,690 円/3 年の更新に関する説明があり、承認された。

6. 会員システムの導入について (中井) p.042

- ・ ㈱イーストゲート (アルムネット) にヒアリングをした結果、8 割方は要望通り対応できそうなことを確認した。ただし、(1) 会員からの質問対応は事務局 (会員担当) であって業務代行までは対応していないため、別の負担が増えることが危惧されること、(2) 名簿閲覧時に文字のコピーは可能であること (現在はコピー不可)、(3) 冊子体の出力は対応していないこと (冊子体を作成するためには CSV で出力した情報をこちらで加工する必要があること)、などの課題も存在することが報告された。
- ・ 名大工学部の他同窓会を調査したところ、電気系同窓会双葉会はアルムネットを導入していることが分かった。会員からの問い合わせがどの程度あるのかなど、実際の事務局の負担について、今後ヒアリングすることとした。
- ・ 建築同窓会の八いつ会は、名簿作成・発送、会費引落とし手続きまでを外部委託している (年に 2 回ほど、会員情報の更新データを委託会社へ転送)。オンライン会員システムとは異なるが、冊子体の名簿作成が可能となるなど、メリットもある。こちらも、委託会社にヒアリングを行い、費用だけでなく、できること／できないことを確認することとした。ただし、類似の代行会社の作成した名簿を見た際に、精度が悪い／不正確だったことがあるとの指摘が役員からあり、慎重に判断する必要がある。
- ・ オンライン会員システムの他社へのヒアリングと合い見積もり、双葉会・八いつ会へのヒアリングを進めていくことが確認された。なお、今後はユーザー視点での意見も必要となるため、会員担当を経験していない幹事も加わった WG を発足することが提案され、承認された。追加のメンバーについては、会員担当から直接依頼予定とのこと。

7. 次期三役について (中井) p.046

- ・ 会長推薦案作成委員会が 2022 年 12 月 31 日 (月) に開催され、次期会長として大東憲二氏 (16 期・大同大学教授) が推薦され、承認された。
- ・ 加えて、次期幹事長として判治剛先生 (37 期)、次期副幹事長として中村友昭先生 (39 期) が推薦され、承認された。なお、判治先生は名簿担当から外れるが、中村先生は引き続き、会計担当も兼任いただく。

8. 第 33 回総会について (中井) p.047

- ・ 第 33 回総会は 2023 年 6 月 30 日 (金) 18:00~18:45 に ES ホールで開催することが提案され、承認された。総会終了後はレストラン花の木で懇親会を開催する。総会は、対面参加を推奨するが、希望者はオンラインでも参加できるようにハイブリッド対応すること

とした。

- ・ 総会議案書(案)が示され、承認された。

#### 9. その他

- ・ 2023年度第2回鏡ヶ池会役員会の開催日は次期執行部で検討の上、連絡があることが確認された。

以上